



本格的な天文台の建設を

町長＝関係機関と慎重に議論

問

全国からの観光客や修学旅行の多くの子どもたちが、自分の目で見る宇宙の神秘や感動体験プログラムが、宇宙教育と観光振興に大きな役割を担っています。

本町にも大型望遠鏡を備えた本格的な天文台を建設するべきでは。

町長

通年型観光施設の乏しい本町にとって、新しい観光スポットが誕生すれば、交流人口の拡大につながると認識しています。

しかし、その天文台で「どのような観光誘客を進め、教育旅行などに生かしていくのか」や「その役割を誰が担うのか」など、地域を巻き込んだ観光誘客の仕組みづくりも必要です。

針生天文台の利活用なども参考にしながら、観光物産協会などの関係団体と慎重に議論します。



針生天文台の天体望遠鏡設備

宇宙教育への取り組みは

教育長＝地域の有識者と連携

問

平成28年3月25日、県教育

委員会は、宇宙開発や天文学などを学ぶ「宇宙教育」の充実を旨とし、宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙教育センターと連携協定を結びました。

それに基づき、同年5月22日に「宇宙教育フォーラム・研修会」が開催されましたが、本町教職員の参加の有無は。また、宇宙教育への取り組みは。

教育長

本町教職員

の参加はありませんでした。広大な宇宙の謎や宇宙への探求心は、子どもたちの好奇心や冒険心をかきたてる素晴らしい体験だと認識しています。

宇宙教育は、星空観察や宇宙に関する専門的な学び、さらに施設見学などの社会教育面で取り組むことで、ふるさとの自然や人材の素晴らしさを知ることが期待できます。今後は、地域の有識者と連携しながら取り組みます。